

定尺横葺キャップレス工法

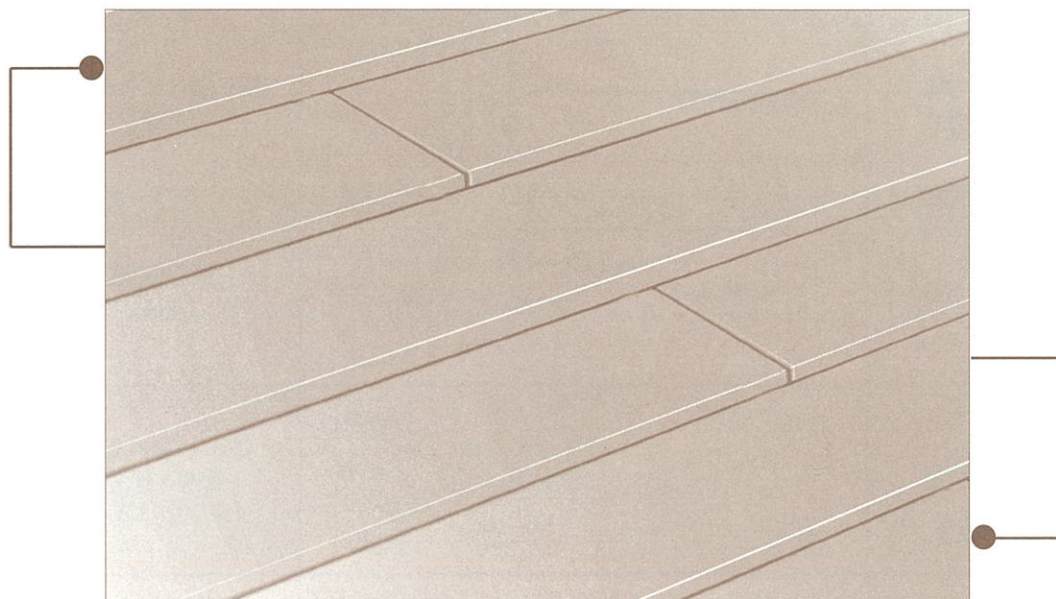
MSタフ段葺17

・継手意匠登録 第1089511号・

標準施工の手引き(参考)

保存用

ファイルにしてご使用ください。



月星商事株式會社

施工に用いる屋根材及び標準部材	3
施工の流れ	4
屋根施工要領	5
割り付け・墨出し	
構成図	
各部位の納め例	6～7
屋根葺き板の配置方法	8～9
(1) 葺き廻し法	
(2) 一文字法	
(3) 階段法	
屋根材の葺き廻し	9
葺き板の取り付け	10
各部位の納め	10～14
軒先納め	
棟納め	
水上部雨押え	
流れ方向雨押え	
ケバラ納め	
下り棟納め	
谷納め	
MEMO	15

.....

定尺横葺キャップレス工法

MSタフ段葺 1 7

ー施工に当たってー

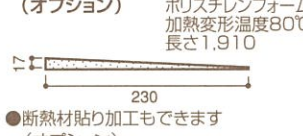
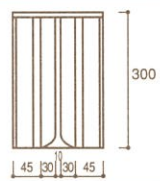
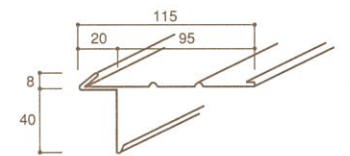
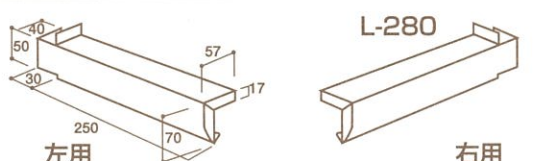
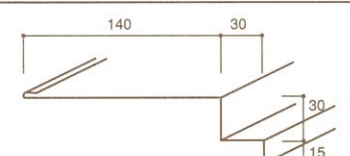
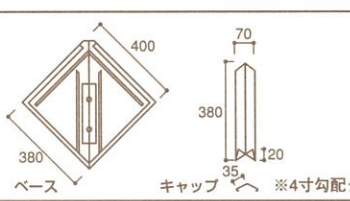
葺き板本体を専用のジョイント捨水切を用いて納めるキャップレスのシンプルな構造の屋根です。左右どちらからでも施工できるので、屋根板の葺き廻しが自由で、材料の無駄を省き、美しい葺き上がりとなります。

また、現場における手加工を省略するため、ケラバキャップ、下り棟セットなどアクセサリーを揃えていますので、必ずご確認のうえご使用下さい。

.....

施工に用いる屋根材及び標準部材

■製品仕様

種目	品目	規格・寸法 (mm)	使用数量	
葺き板	MSタフ段葺17	■葺き板本体  ■バックアップ材貼り (オプション)  ●断熱材貼り加工もできます (オプション)		
		●製品寸法 ① 働き幅 250mm ×長さ2,630mm×段高15mm (働き長さ2,640mm) ●製品単位重量 (葺き板本体) 月星GLカラーつや消し 0.5mm 21.23kg/3.3m ² 月星GLカラーTF (フッ素樹脂塗装鋼板) 0.4mm 17.17kg/3.3m ²	製品有効面積 0.66m ² /枚	単位当たり使用枚数 5枚/3.3m ²
		●製品寸法 ② 働き幅 250mm ×長さ3,990mm×段高15mm (働き長さ4,000mm) ●製品単位重量 (葺き板本体) 月星GLカラーつや消し 0.5mm 25.52kg/4m ² 月星フッ素樹脂塗装鋼板GL 0.4mm 20.65kg/4m ²	製品有効面積 1.00m ² /枚	単位当たり使用枚数 4枚/4m ²
使用勾配 30/100以上からご使用ください				
水切板	ジョイント捨水切 (J)	 160×300	葺き板ジョイント 1カ所につき1枚	
役 物	軒先唐草 (NK)	 L-1820	桁行きと同等	
	ケラバキャップ 左用・右用 (KCL・KCR)	 L-280 左用 右用	葺き板1段につき1本	
	ケラバ捨板 (KSK)	 L-1820	流れ長さと同様	
	下り棟セット ベース・キャップ (KDB・KDC)	 380×400 ベース キャップ ※4寸勾配タイプ	葺き板1段につき1セット	
使 用 材 料		月星GLカラーつや消し 月星GLカラーTF (フッ素樹脂塗装鋼板)		
断熱材及びバックアップ材 (オプション)		ポリフォーム裏貼り/バックアップ材ポリスチレンフォーム		
標準色	月星GLカラーつや消し	GQ152 (ダークブラウン)、GQ351 (モスグリーン)、GQ451 (ネービーブルー)、GQ551 (ブラック)、GQ552 (ダークグレー)、GQ311 (緑青)、GQ818 (銀黒)		
	月星GLカラー TF	F7A1 (コーヒープラウン)、F9A1 (レイブンブラック)		

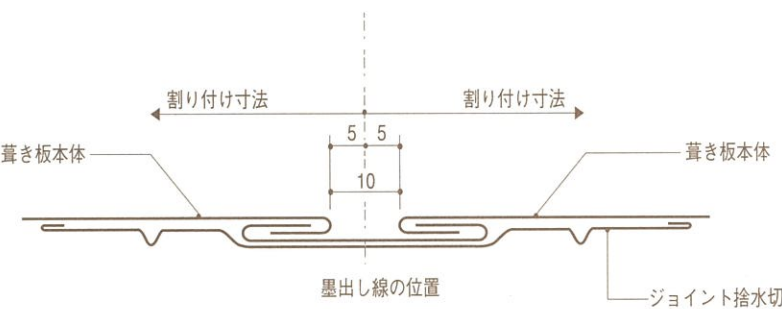
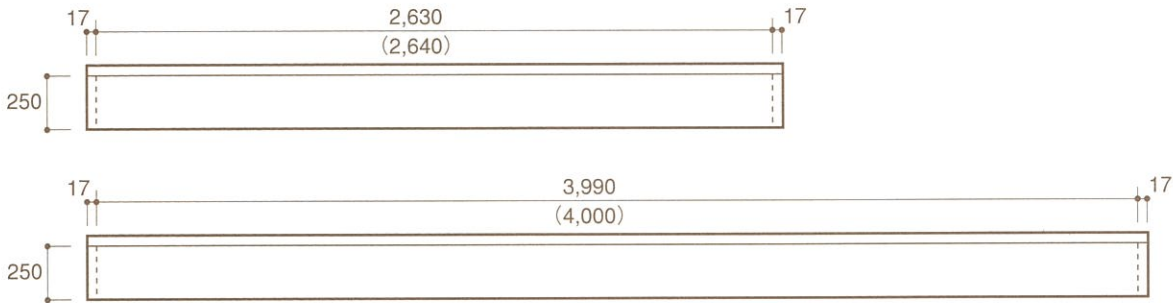
※仕様は予告なく変更する場合があります。

施工の流れ

【工程】	【作業の内容】
葺き板搬入	荷揚げ・養生
役物取り付け	軒先唐草、ケバラその他各部位の役物取り付け
下葺き材の施工	ルーフィングの敷き込み
割り付け・墨だし	桁行き、流れ方向、棟、下り棟、捨て谷等の位置
葺き板の取り付け	屋根の施工
役物の取り付け	ケラバカバー、下り棟、水切、雨押え、棟納め等
点 検	仕上げ、点検
片付け、清掃	残材片付け
完成・引き渡し	

屋根施工要領

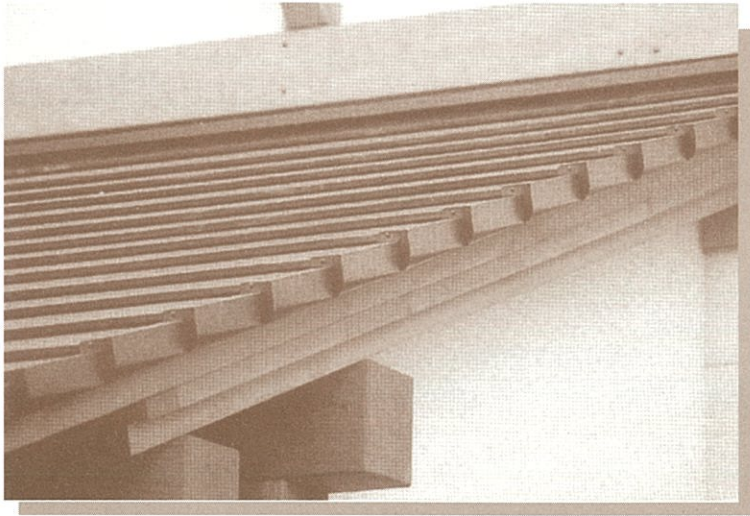
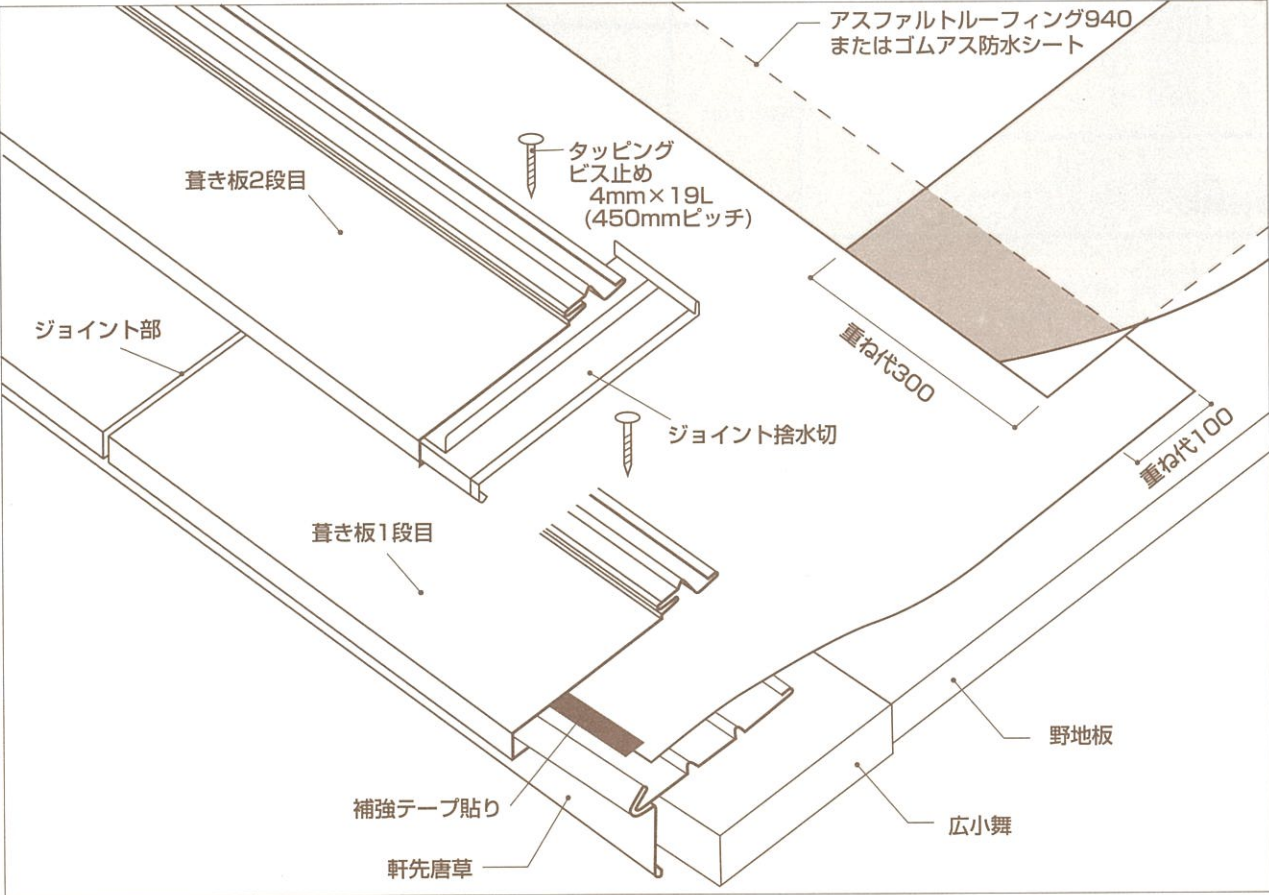
割り付け・墨出し
 葺き板の基準寸法
 ●葺き板はL-2630mm（働き長さ2640mm）と3990mm（働き長さ4000mm）があります。



※ジョイント捨て水切りの中心が、割り付け寸法の基準となります。

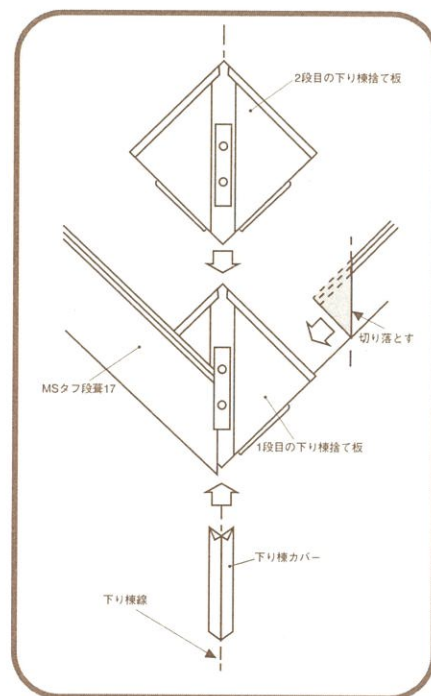
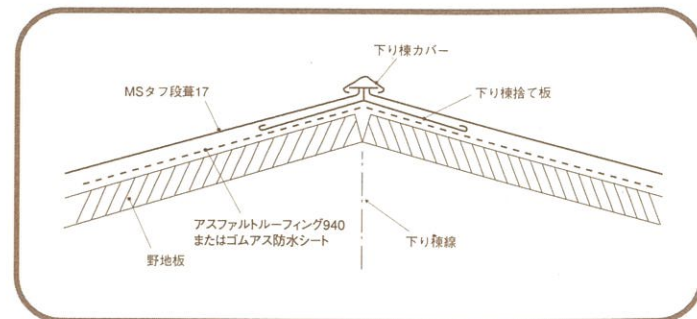
●軒先唐草取り付け、ルーフィング敷き込みが終わった後、割り付け、墨出しを行います。

■構成図（木造）

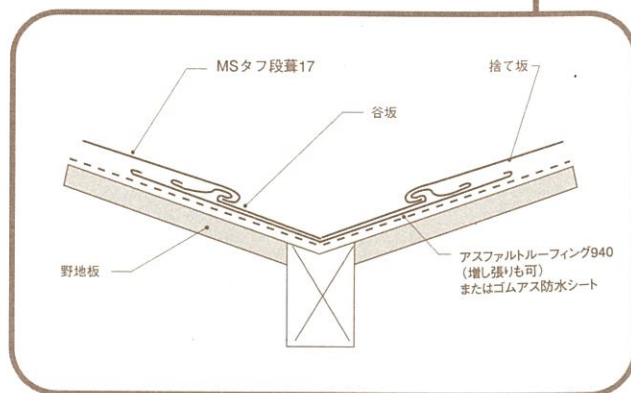


各部位の納め例

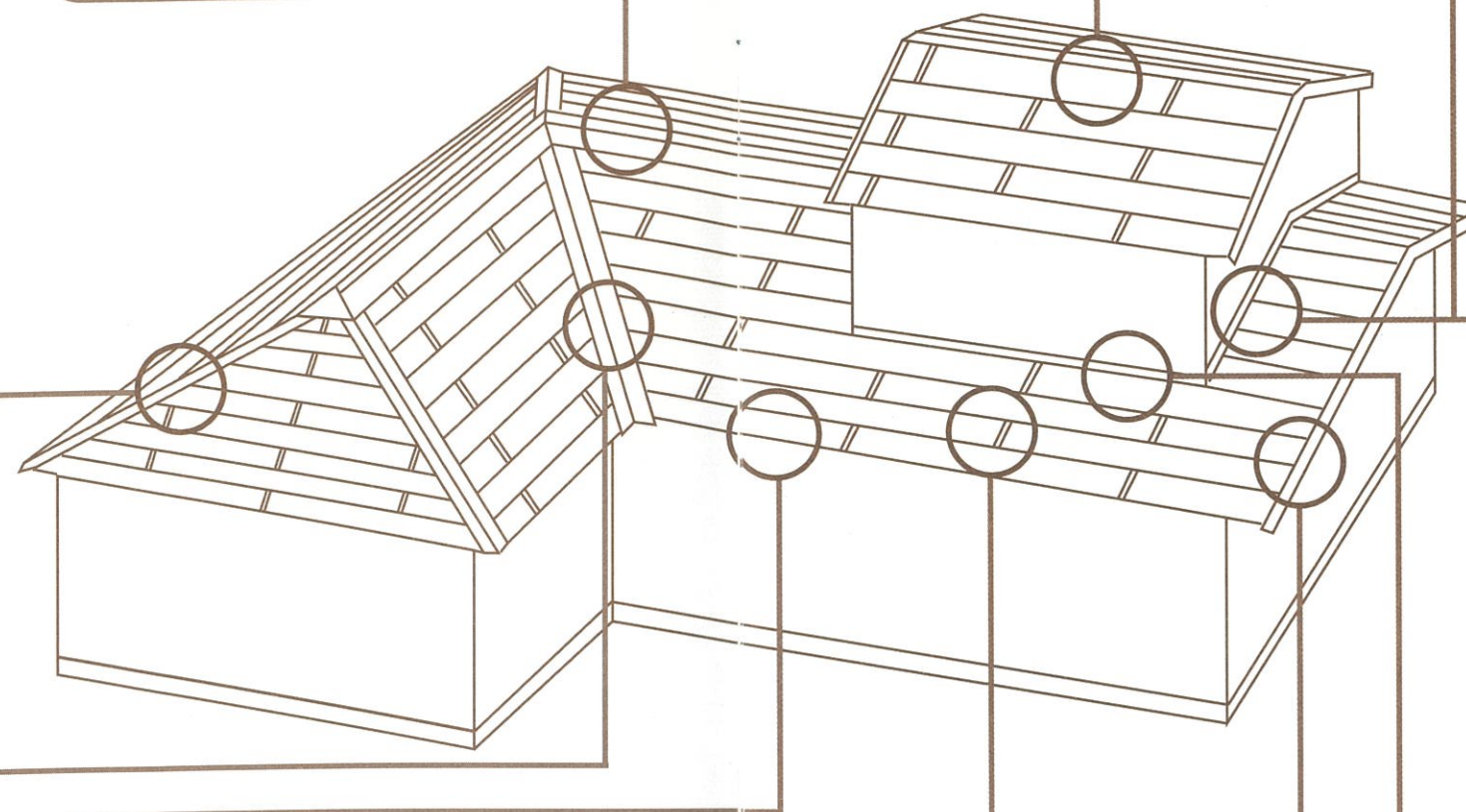
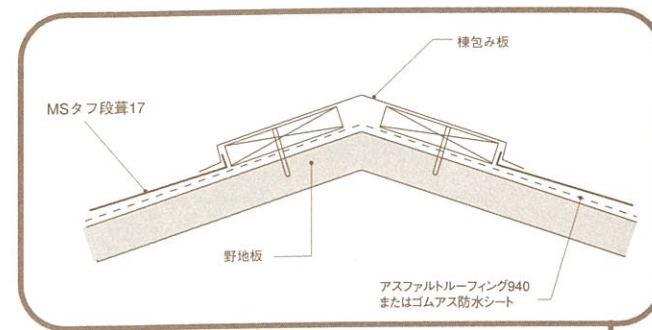
●下り棟納め



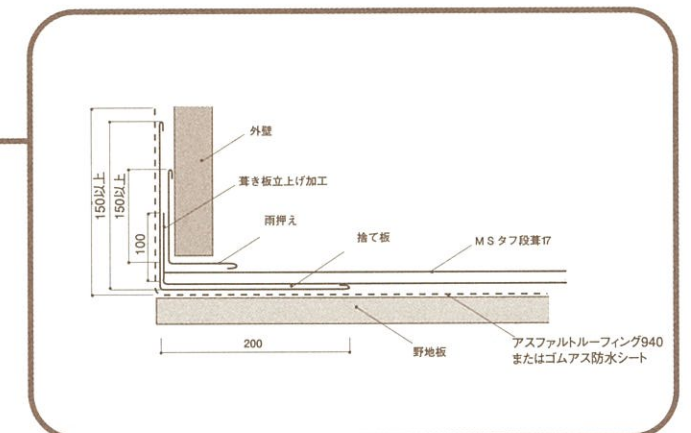
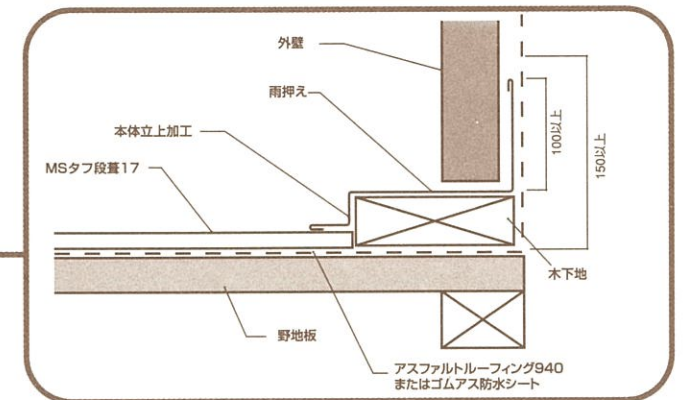
●谷納め



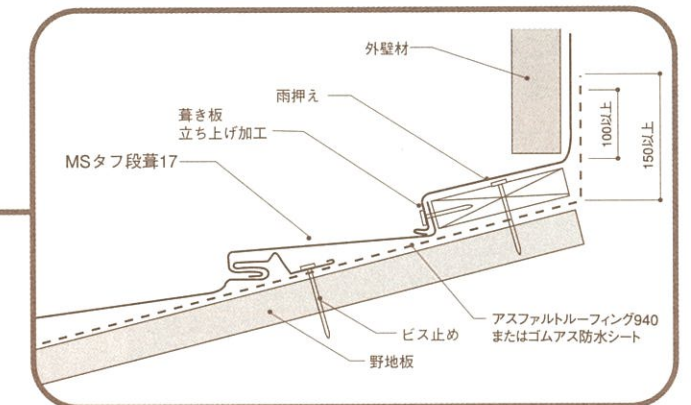
●棟納め



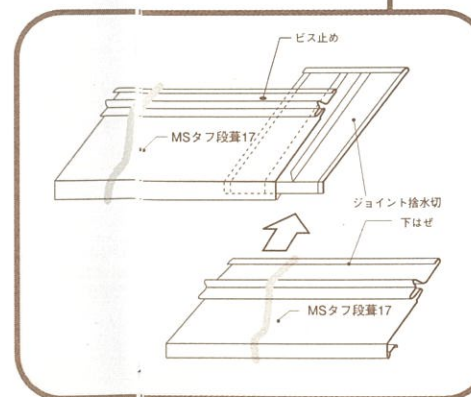
●流れ方向雨押え



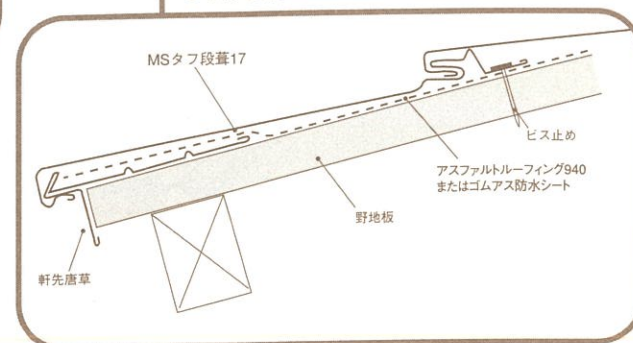
●水上部雨押え



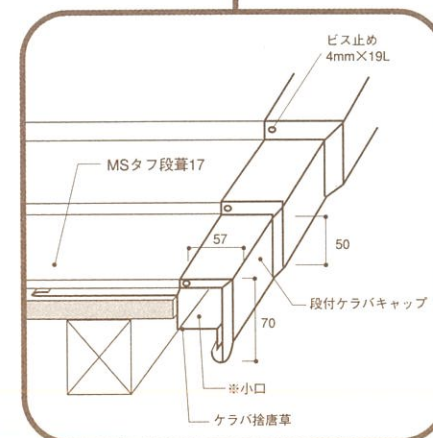
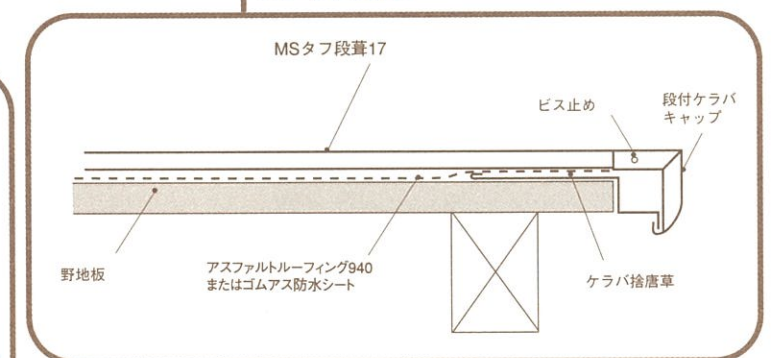
●ジョイント 捨て水切り納め



●軒先納め



●ケラバ納め



屋根葺き板の配置方法

屋根を葺き上げていく段葺板本体の継ぎ手の配置により
ポピュラーな方法として次の3つの工法があります。

1 葺き廻し法 2 一文字法（千鳥葺） 3 階段法

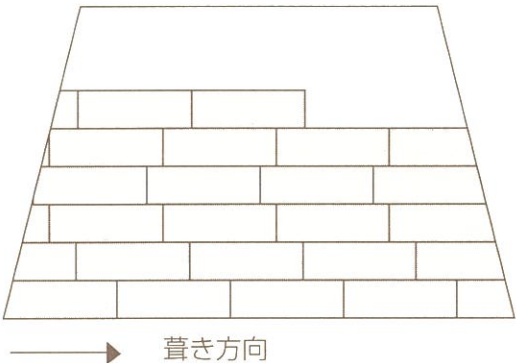
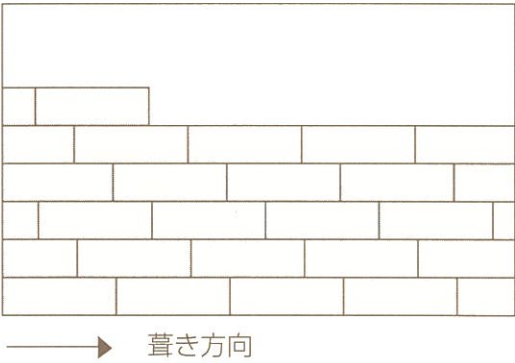
(1) 葺き廻し法

- ◆切妻屋根
- ◆片流れ屋根

- ◆方形屋根
- ◆寄棟屋根

- 水下側から葺き始め、下段で余った屋根の端材を次の葺き始め（左または右側）に使用します。
- 片流れや切り妻の屋根では、継ぎ手の模様は千鳥模様の規則的なものになります。

- 方形や寄棟の屋根では、不規則な模様となります。

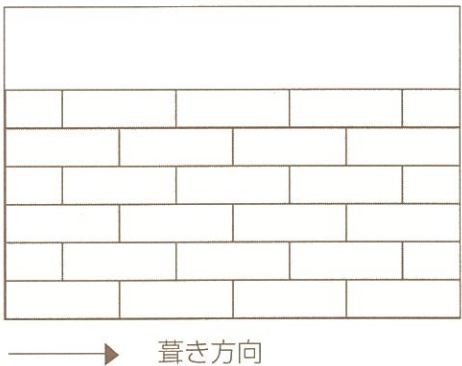
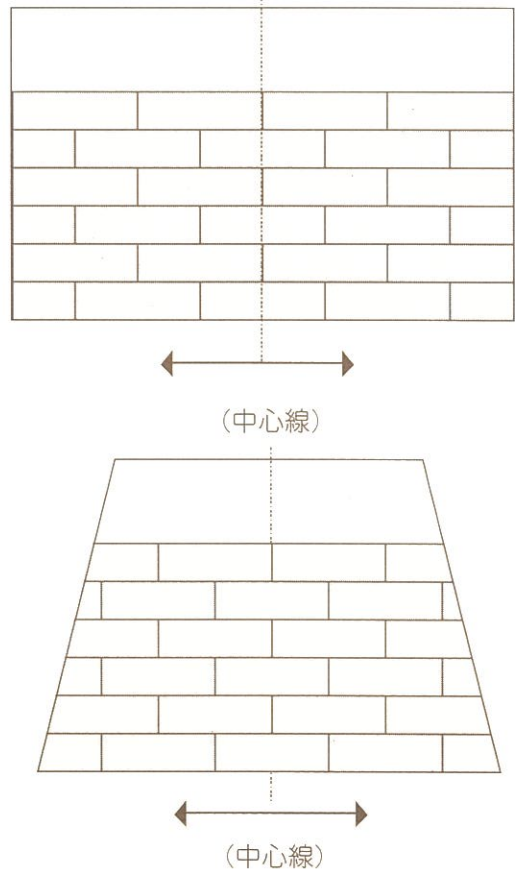


(2) 一文字法（千鳥葺）

(イ) 建物の中心から振り分けて葺く方法。

- 葺き板本体の中心に上・下段の継ぎ手が来る方法で、市松模様に葺き上がります。

(ロ) 端から片追いして葺く方法。



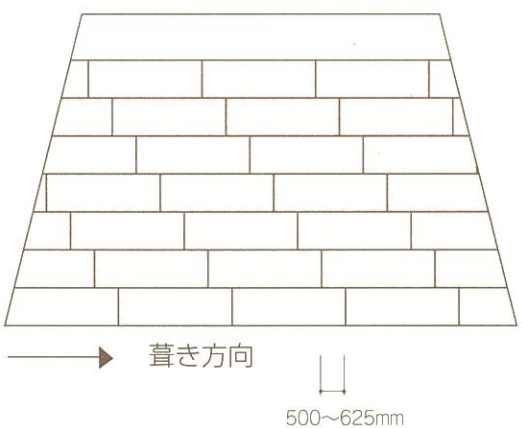
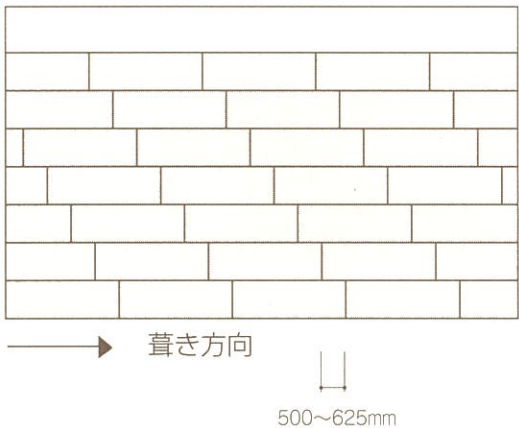
(3) 階段法

(イ) 切妻などの屋根の納め

(ロ) 寄棟屋根などの納め

- 葺き板の各段の継ぎ手を同方向に、等寸法ですらしていく方法。
- 大型の建物で、端材を有効に利用出来る利点があります。
- すらしていく寸法は、葺き板の有効幅の2～2.5倍が適当です。

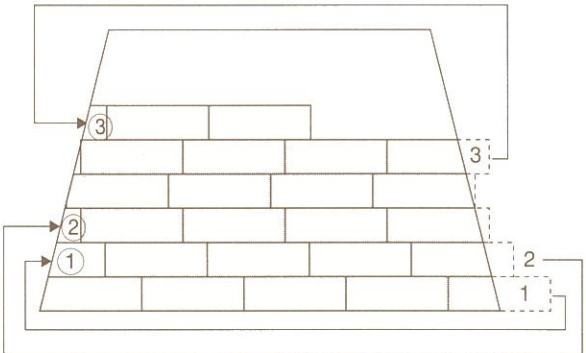
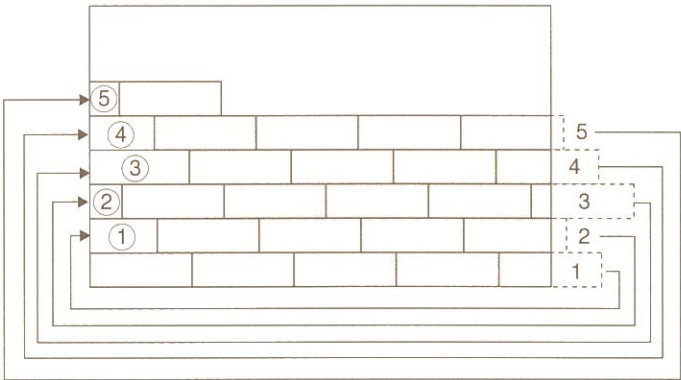
※MSタフ段葺17では500mm～625mmとなります。



屋根材の葺き廻し

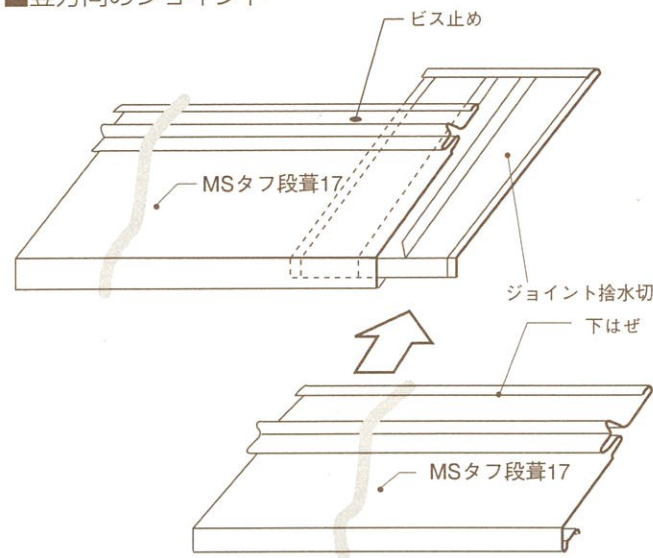
- 前の段の端部で余った屋根材を切り取って次の段の葺き始めに使用します。
- 図に示すように、1→1、2→2、3→3、4→4、と移動して使用します。
- 片流れ・切妻屋根では、継ぎ手の模様は千鳥状の規則的なものになります。

- 寄棟の屋根では、不規則な模様になります。



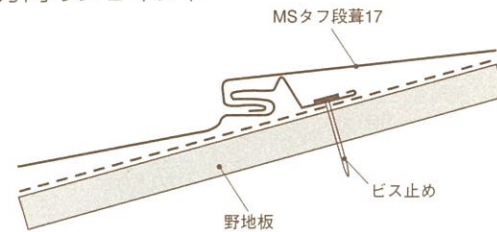
葺き板の取り付け

■ 縦方向のジョイント



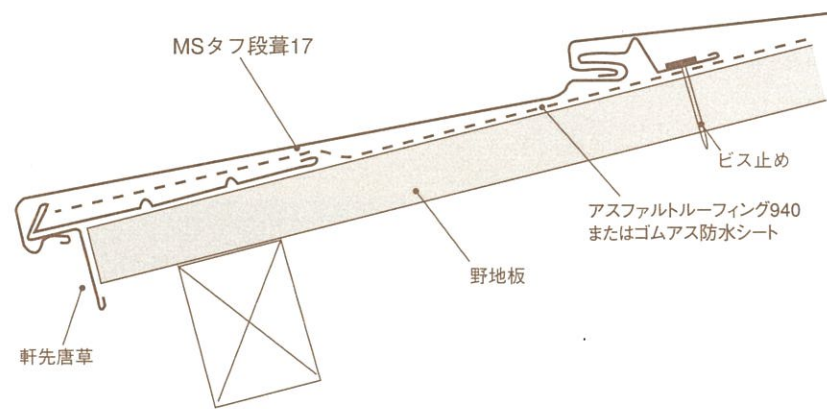
- 墨出し線に従って葺き板を置き、ジョイント捨て水切りを差し込んで設置します。
- 葺き板2枚目を、ジョイント捨て水切に軒先方向から差し込んで固定します。
- 葺き方向は、ジョイント捨て水切を中心にして、右方向、左方向の左右どちらでも自由に選んで施工出来ます。
- 葺き板の固定は、下はぜ部にタッピングビス4mm×19Lをピッチ450mmに野地板に直止めします。

■ 横方向のジョイント



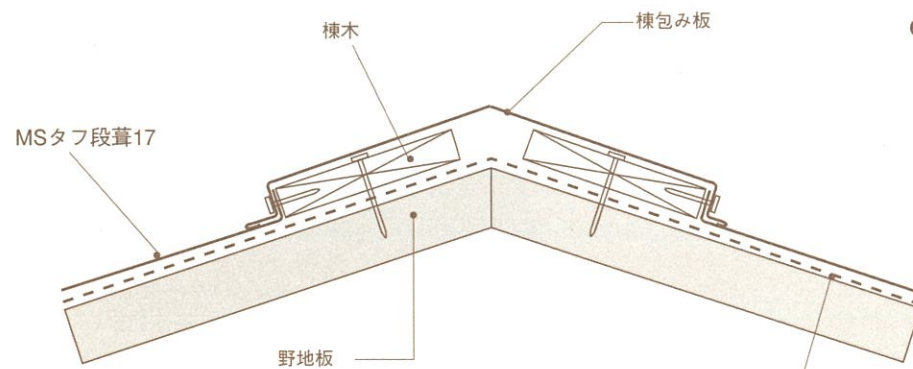
各部位の納め

軒先の納め

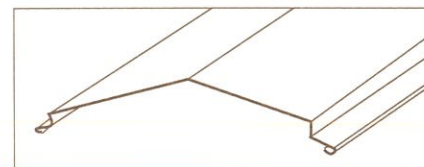


- 軒先唐草を取り付けます。
- アスファルトルーフィングを、軒先唐草の上まで、十分にかぶせて取り付けて下さい。
- MSタフ段葺17の一段目を、軒先唐草にしっかりと組み合わせて、野地板に直接ビス止めして下さい。

棟納め

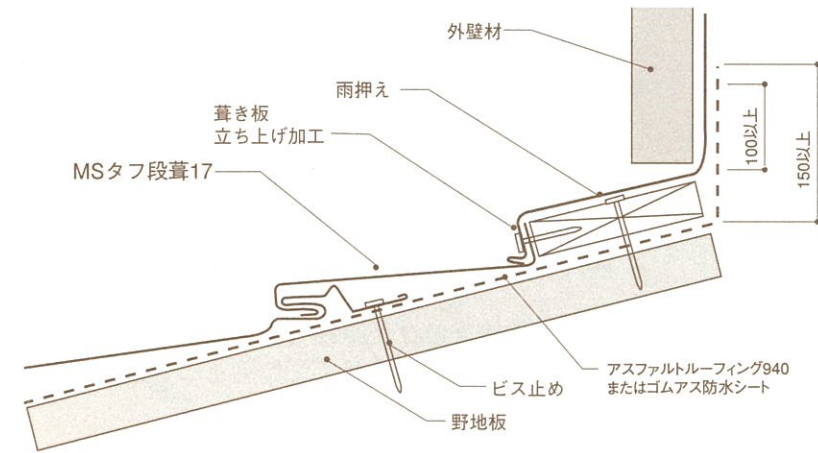


- 棟部に棟木を取り付け、先端部を立ち上げた葺き板を取り付けた後、棟包板をかぶせ、両側から釘止めて納めます。



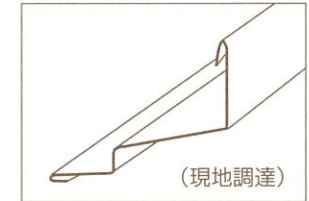
アスファルトルーフィング940
またはゴムアス防水シート
-10-

水上部雨押え



- アスファルトルーフィング940またはゴムアス防水シートを壁面に沿って150mm以上立ち上げて下さい。
- 木下地を取り付けます。
- 葺き板の上部を取り付けた後、雨押えを固定します。雨押えは100mm以上立ち上げて外壁材の内側に納まるように固定して下さい。

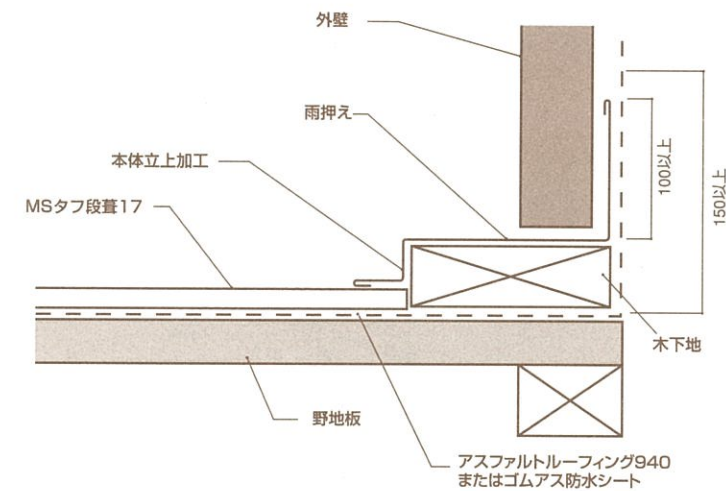
● 雨押え



(現地調達)

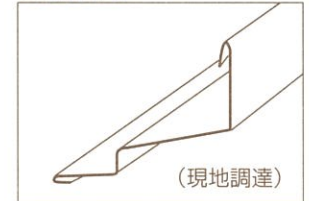
流れ方向雨押え

【木下地あり】



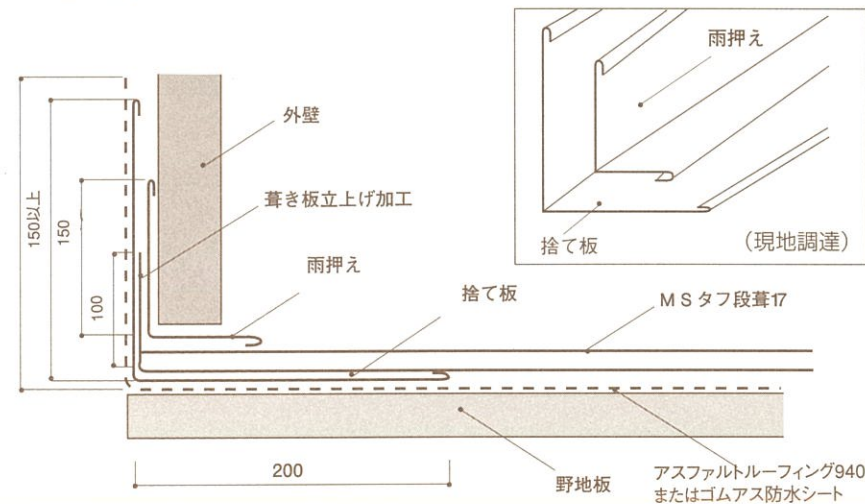
- 木下地を取り付けた場合
- 葺き板端部は雨押え板の上部まで立ち上げて下さい。
- 雨押えは100mm以上立ち上げて下さい。

● 雨押え



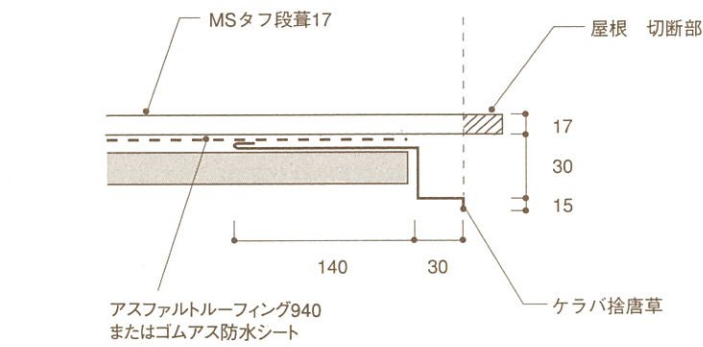
(現地調達)

【木下地なし】

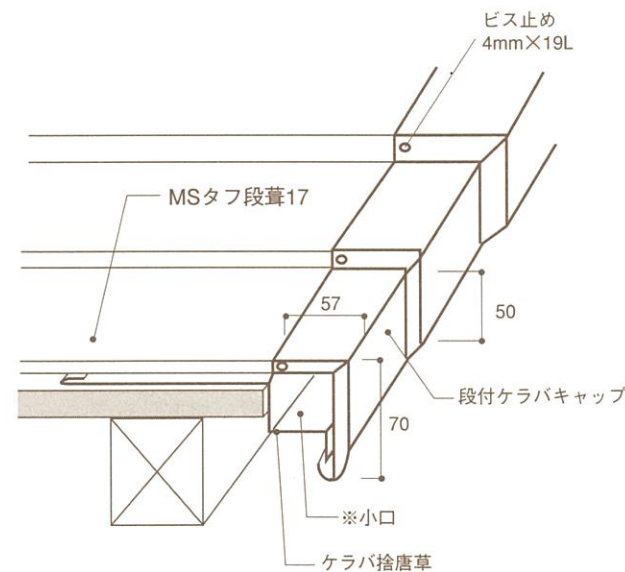
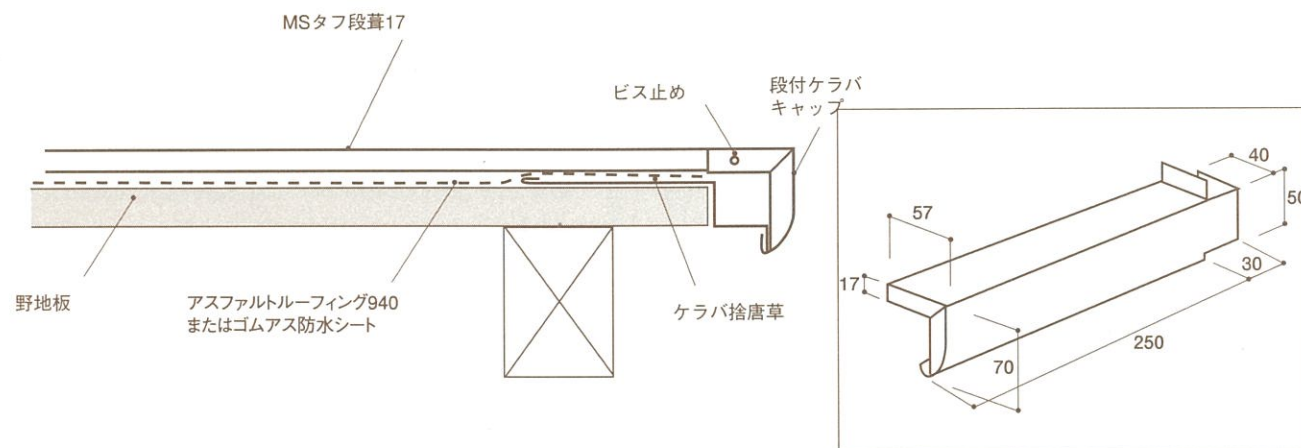
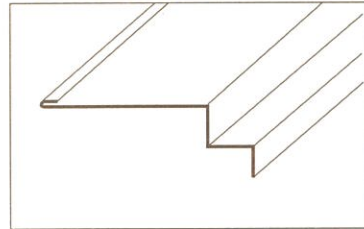


- 木下地を用いない場合
- アスファルトルーフィング940またはゴムアス防水シートを150mm以上立ち上げて下さい。
- L字型の捨て板を150mm以上立ち上げて取り付けて下さい。
- 葺き板本体も100mm程度立ち上げて取り付けて下さい。
- その上にL字型に150mm以上立ち上げた雨押えを外壁材の内側に固定します。

ケラバ納め



●ケラバ捨唐草



●野地板にケラバ捨て唐草を取り付けます。唐草の先端は蛇行しないように通りを揃えて下さい。

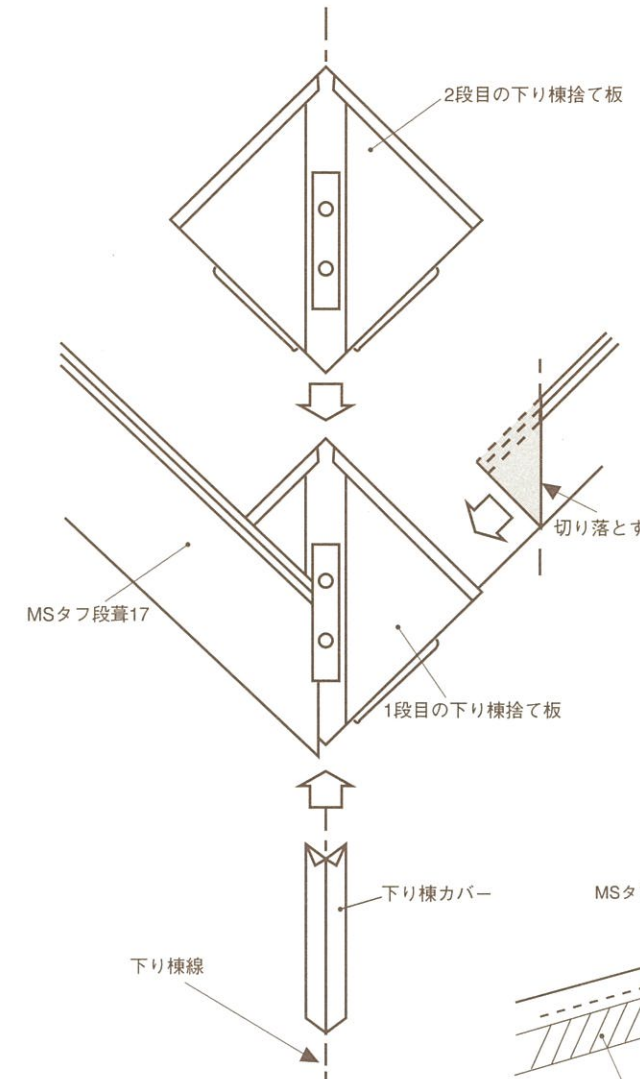
●アスファルトルーフィング940またはゴムアス防水シートをケラバ捨て唐草の上に重ねて敷き込みます。

●葺き板の端部はケラバ捨て唐草の折り下がり位置に合わせて切り落として下さい。

●段付きケラバキャップを軒先側から順次ビスで取り付けて納めます。

※軒先の小口ふさはぎはケラバキャップと同資材で、現場加工により仕上げして下さい。

下り棟納め



●下り棟線を中心にして、まず下り棟捨て板1段目を取り付けます。

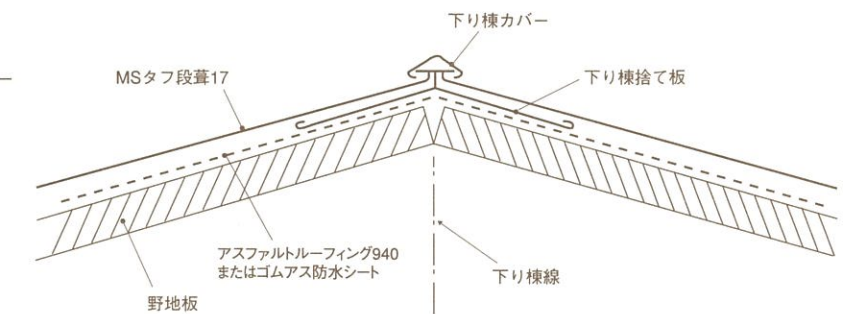
●葺き板端部は、下り棟線に平行になるように切り落とします

●下り棟捨て板の両側から、下り棟線より5mm程度バックした位置に葺き板を差し込んで固定します。

●葺き板が完全に差し込まれたことを確認した後、下り棟カバーを下り棟捨て板に差し込んで完了します。

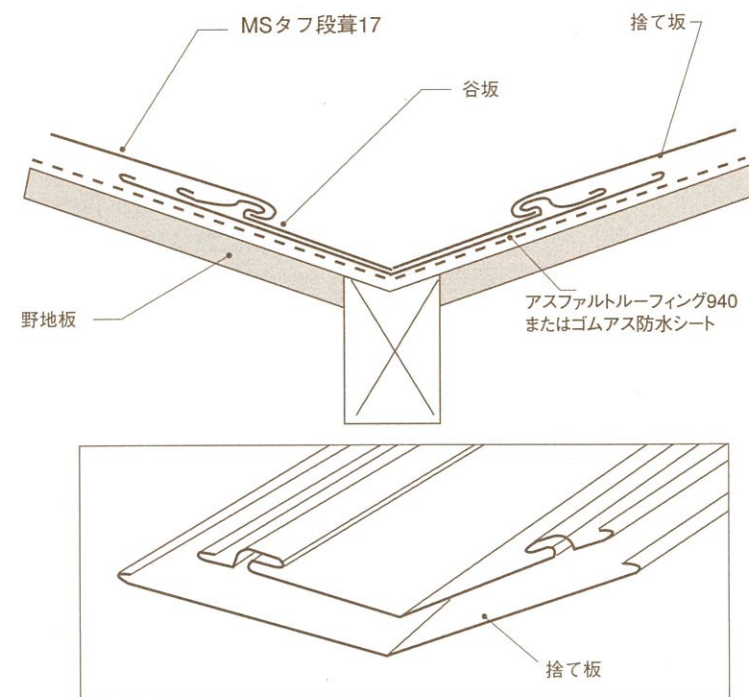
(注)

寄棟などで左右の屋根の勾配が異なる場合は、下り棟セットが使用出来ません。その場合には、一般の棟納めの要領で勾配に合わせて納めて下さい。

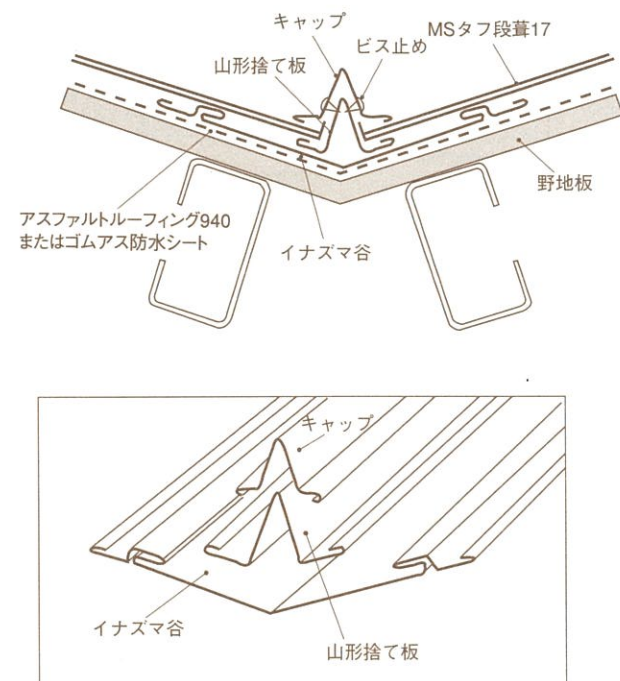


谷納め

■葺き板をつかみ込む工法



■葺き板をつかみ込まない工法



●野地板にアスファルトルーフィング940またはゴムアス防水シートを敷き込みます。

●捨て板を取り付けます。または、捨て板の代わりにアスファルトルーフィング940またはゴムアス防水シートの上にさらに1m幅のルーフィングで2重に増し張りすることも可能です。

●その上に谷板（イナズマ谷）を重ねて取り付けます。

●谷板につかみ込むため、葺き板本体をつかみ代20mm程度残して切り揃えて下さい。葺き板上部のジョイント部を残して、平板部のみをつかみ込みます。
*イナズマ谷にジョイントが重なる場合、谷手前300～400mmにてハゼを作り、谷のつかみ込み位置に、ジョイントが当たらないように施工して下さい。

●アスファルトルーフィング940またはゴムアス防水シートの上に谷板（イナズマ谷）を取り付けます。

●その上に山形に加工した捨て板を取り付けます。

●左右から、先端部を立ち上げ加工した葺き板を差し込みます。

●捨て板と同形の山形加工をしたキャップをかぶせて、捨て板にビス止めして仕上げます。

安全作業上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性が想定される事柄について。

- 高所作業を伴いますので、転落による事故防止のため高所作業の正しい服装と保護具を着用してください。（2メートル以上の高所作業では、安全ベルト、命綱の携帯が法律で規定されています。）
- 強風・雨天・降雪・雷鳴時の場合は施工しないでください。落下及び落雷事故の恐れがあります。
- 金属屋根や金属部材は、電線等に触れないように取り扱って施工してください。感電の恐れがあります。
- 金属製屋根ですので、けがを防止するために、必ず作業手袋を着用してください。
- 葺き上げた屋根面にはものを置かないでください。ルーフィング上に屋根材を置くときは、滑り落ちないように固定してください。

⚠ 注意 取り扱いを誤ると障害を負う危険または物的損害が生じる可能性が想定される事柄について。

- 作業規律の徹底を図り、健康状態のチェックをしてください。身体に異常があるときの高所作業は中止してください。
- 屋根材は風で吹き飛ばされないように設置してください。また風の吹いているときに持ち運ぶ場合、あおられないよう、足元を固めてください。
- 断熱材貼り製品の場合、裏面や切断面に、溶接の火花などが当たると引火する恐れがあるので、養生するなどご注意ください。
- 屋根上で作業中に出る切粉は、さびの原因となりますので、確実に取り除いてください。
- 異種金属との接触はさびの原因となりますので、避けてください。
- 現場加工時に、鉄板に生じたバリはけがをする可能性があるので取り除いてください。
- 屋根面の塗装に傷がつかないように注意してください。もし傷をつけてしまった場合は、必ず補修塗料で補修してください。
- 下葺き材はアスファルトルーフィング940またはゴムアス防水シートをご使用ください。
- 落ち葉やごみなどは作業者の足をすくったり、目を傷めたりして事故につながる場合がありますのでご注意ください。毎日の作業前・終了後は、屋根面の清掃をしてください。
- 梱包材・残材等は産業廃棄物として処分してください。



月星商事株式會社

本 社 〒104-8533 東京都中央区八丁堀四丁目4番2号
営 業 TEL 03(3551)2121 FAX 03(3552)4079
<http://www.tsukiboshi-shoji.co.jp>

北 関 東 支 店	0270(65)3311	千 葉 支 店	043(259)0511	山 梨 営 業 所	055(284)1261
埼 玉 支 店	048(728)9111	神 奈 川 支 店	046(263)2020	名 古 屋 営 業 所	05617(3)5104
福 島 支 店	0247(62)6211	静 岡 支 店	0548(22)5241	和 歌 山 営 業 所	073(471)6591
小 山 支 店	0285(49)2311	大 阪 支 店	06(6462)0202	高 松 営 業 所	087(848)3311
土 浦 支 店	0298(31)8022	兵 庫 支 店	0790(22)5271	福 岡 営 業 所	092(939)5700

■お問い合わせは —————